



JFAこころのプロジェクト

10th anniversary

JFAこころのプロジェクト 10周年記念パーティー

4月19日(水)東京ドームホテルにおいて、「JFAこころのプロジェクト10周年記念パーティー」を開催いたしました。協定を締結している自治体、ご支援いただいている企業・団体、夢先生など、約300名がご出席されました。北は北海道、南は鹿児島まで、遠方よりお越しいただいた方もおり、お忙しい中多くの方にお集まりいただき、盛大なパーティーとなりました。誠にありがとうございました。ここで、パーティーの内容を一部ご紹介いたします。

■14:30— 受付

自治体80名、支援企業87名、スポーツ関係者53名、夢先生28名、プロジェクト関係者52名、総勢300名の皆様にお集まりいただきました。

会場では、10周年記念の号外をお配りいたしました。



■15:00— 開宴・DVD放映

2007年からスタートした「夢の教室」。これまでに授業を受けた子どもたちのインタビュー映像の放映とともに開宴。子どもたちのその後の成長を紹介し、プロジェクトの10年間を振り返りました。



■15:10— 挨拶

日本サッカー協会 川淵三郎最高顧問
本プロジェクトをご支援いただいている企業の皆様、受け入れてくださっている自治体の皆様に、御礼を述べるとともに、今後のさらなる発展を誓いました。





■15:15— ご挨拶、乾杯

日本体育協会 張富士夫会長

東日本大震災の被災地へ夢先生を派遣する「スポーツこころのプロジェクト」実行委員会の張会長より来賓を代表してご挨拶をいただきました。

■15:35— 夢先生紹介

総勢28名の夢先生を「夢の教室」登壇の際の写真とともに、お一人ずつご紹介しました。

■15:45— 夢先生代表挨拶

夢先生を代表して、有森裕子様、松田丈志様にご挨拶をしていただきました。

有森裕子様（マラソン）

アスリートとしての経験やスポーツの素晴らしさを今後も「夢の教室」を通じて伝えていきたい、と熱く語ってくれました。

松田丈志様（水泳）

引退後、これからは自らの経験を子ども達に伝えていくべき立場として、「夢先生」に参加したことで得た気づきや学びについて語ってくれました。



■15:55— ピンポンキングによる漫才

サプライズで、号外の一面を飾っていた「ピンポンキング」に漫才を披露していただきました。ピンポンキングの“新井元輝”くんは、小学5年生の時に受けた「夢の教室」がきっかけとなり、お笑い芸人の道に進むことを宣言したそうです。軽快な漫才で会場を盛り上げてくれました。

■16:00— 歓談

「夢の教室」を実施いただいている自治体の方々と夢先生との久しぶりの再会や、ご支援いただいている企業・団体の皆さまとの交流などが行われました。



■17:30— 支援企業代表 ご挨拶

トヨタ自動車 早川茂副会長

トヨタ自動車のスポーツへの取り組みや「夢の教室」との関わりについて、特別映像とともにご紹介いただきました。

■17:40— 自治体代表 ご挨拶

遠野市 本田敏秋市長

オープニング映像で登場した浅沼壱星くんの出身でもある遠野市の本田市長より、「夢の教室」を始めた際の思い、そして「夢の教室」の功績について熱く語っていただきました。



■17:50— お礼の挨拶

日本サッカー協会 田嶋幸三会長

このプロジェクトは、関わる全ての皆さんがハッピーになれる、類まれなプロジェクトであり、もっともっと広げていきたいと語り、お集まりいただいた皆様に対し、御礼を申し上げるとともに今後も変わらぬご支援をお願いしました。



★ 出席された夢先生 ★



- ・秋本 真吾(陸上)
- ・東 俊介(ハンドボール)
- ・新井 周(卓球)
- ・有森 裕子(マラソン)
- ・池田 めぐみ(フェンシング)
- ・江上 綾乃(シンクロナイズドスイミング)
- ・江口 晃生(モーターボート)
- ・大山 加奈(バレーボール)
- ・岡里 明美(バスケットボール)
- ・落合 真理(バレーボール)
- ・垣原 賢人(プロレス)
- ・鍋木 毅(トレイルランニング)
- ・小塚 崇彦(フィギュアスケート)
- ・杉本 美香(柔道)
- ・鶴岡 剣太郎(スノーボード)
- ・永田 克彦(レスリング)
- ・初瀬 勇輔(視覚障がい者柔道)
- ・波戸 康広(サッカー)
- ・桧野 真奈美(ボブスレー)
- ・前田 治(サッカー)
- ・マック 鈴木(野球)
- ・松田 丈志(水泳)
- ・水沼 貴史(サッカー)
- ・室伏 由佳(ハンマー投げ)
- ・森 友紀(アルティメット)
- ・諸隈 直樹(バレーボール)
- ・山田 隆裕(サッカー)
- ・湯田 友美(陸上)

10年間、本当にありがとうございました。

JFAこころのプロジェクトは、

これからも子どもたちのために活動していきます。

変わらぬご支援を、何卒よろしく願いたします。